

取扱説明書 Ver 1.02

TP-925

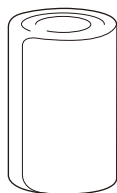
メッシュシェルター



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

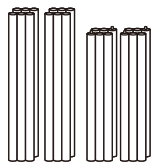
セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



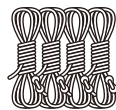
本体



ルフシート



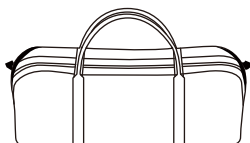
メインフレーム(×2)、
パイザーフレーム(×2)



自在付ロープ
(3.5m×4、2.5m×8)



ジュラルミンペグ(21cm×20)



キャリーバッグ×1



フレームケース×1

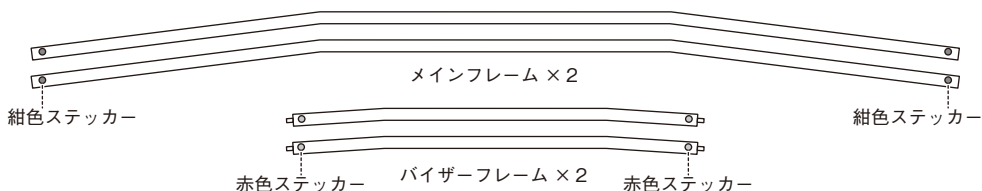


ペグケース×1



取扱説明書(本書)×1

フレーム構成



各部の名称



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

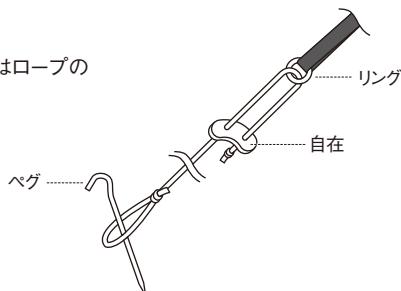
- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

初めてお使いになる前に

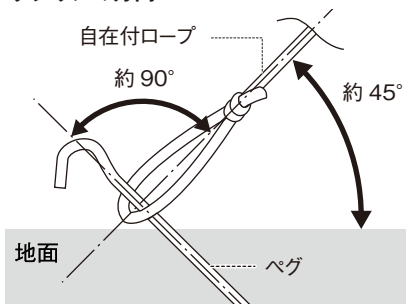
品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の不足があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

■ロープの取り付け方

リング付ベルト先端のリングにはロープの返し部分を通してください。

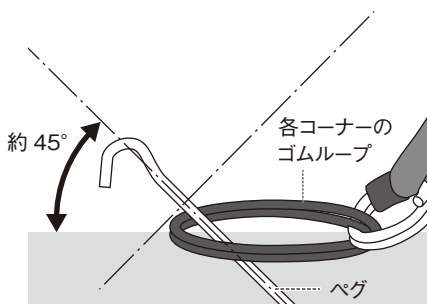


■ペグダウンの方向



【ロープへのペグダウン】

ペグダウンはシェルターからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。



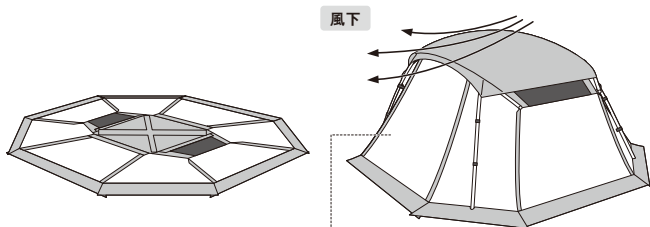
【ゴムループへのペグダウン】

ペグを打ち込む角度は地面に対し約45°になるようにペグダウンしてください。

設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

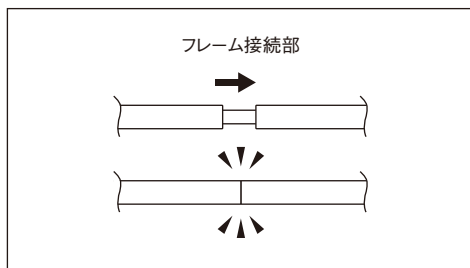
設営・撤収は以下の説明に従い繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。また、付属品が全て揃っているか前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームや本体の破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

- 1 本体を設営する平坦な場所に広げてください。このとき、基本的には出入口となるドアパネルが風下を向くように広げてください。出入口となるドアパネルを風上に向けると、風雨が侵入したり、ドアを開けた際に突然風が入り本体が飛ばされたり、破損する場合があります。

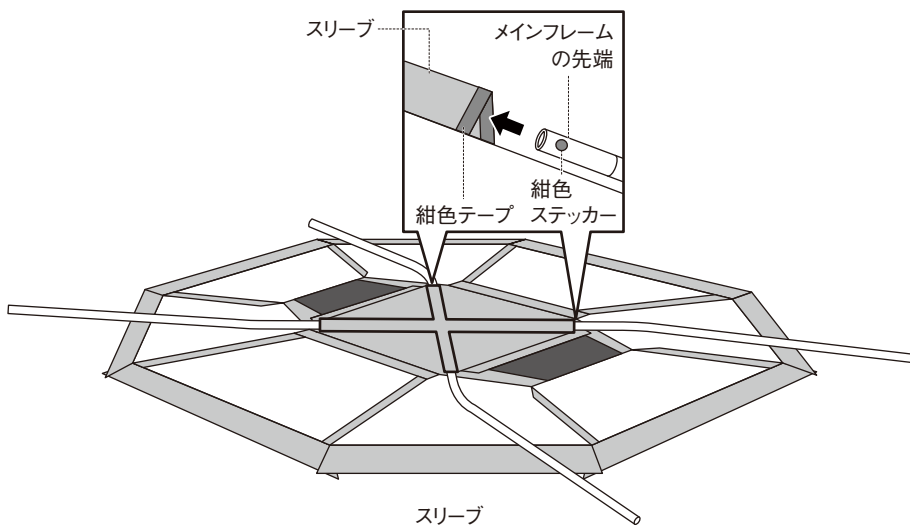


このドアパネルを出入口とする場合
※ドアパネルの形状は反対側のパネルと同じです。

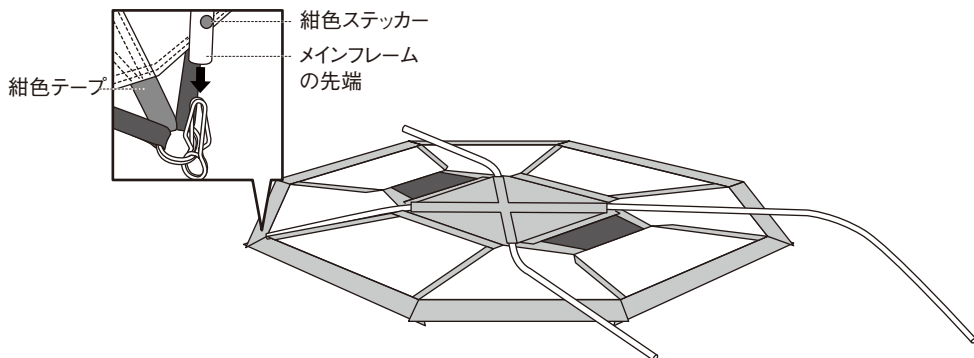
- ② インフレーム×2とバイザーフレーム×2を伸ばし、接続部を確実に連結させてください。
※接続されたポールを取りまわす際は周囲に十分注意してください。



- ③ スリーブとフレームのステッカーの色が合っていることを確認し、メインフレームをスリーブに通してください。本体を挟んで両側に1人ずつ立ち、本体の中央で交差しているスリーブにフレームを片側から通してください。※フレームをスリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。※作業を行う際は、反対側に立つ人と声を掛け合いながら作業を行ってください。



- ④ メインフレームの末端に本体下側の四隅のコーナーの紺色ベルトに付いているピンを1カ所差し込んでください。フレームからピンが抜けないようにしっかりとおさえてください。

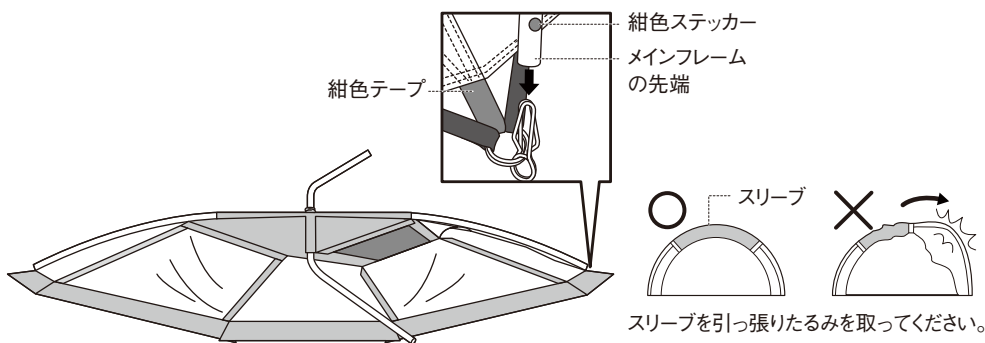


- ⑤ ④でピンを差し込んだフレーム①のもう一方の末端も同様に、本体下側にある紺色ベルトに付いているピンを差し込んでください。フレームを片手で持ちながら、フレームを通したスリーブを引っ張り、スリーブのたるみを取ります。スリーブの位置がフレームのおよそ中央になったらスリーブからフレームの末端に持ち替えピンを差し込みます。

※スリーブの位置が偏った状態で一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームの破損の原因になります。

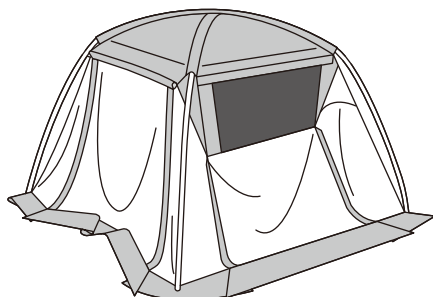
※フレームとピンの上に指を挟まないよう気をつけてください。

※フレームはしっかりと握って作業を行ってください。フレームの端部が跳ね返り大変危険です。

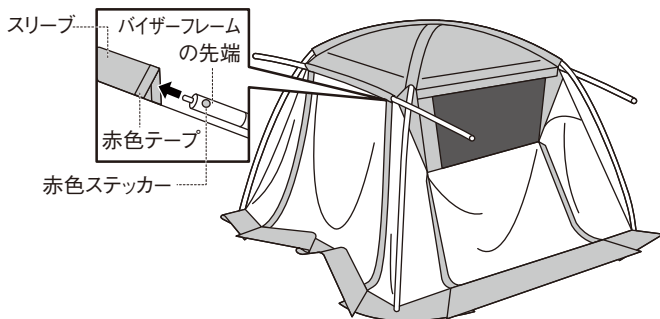


- ⑥ ④⑤と同様の手順でもう一本のメインフレームの末端にピンを差し込んでください。メインフレームを最後のピンに差し込む際にシェルターを持ち上げて自立させてください。

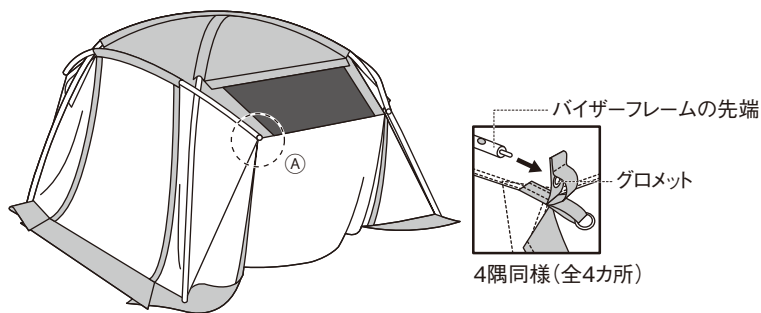
※強風が予想される場合は、この後にピンの付いているコーナーを左右対称に2カ所ベグダウンしてください。



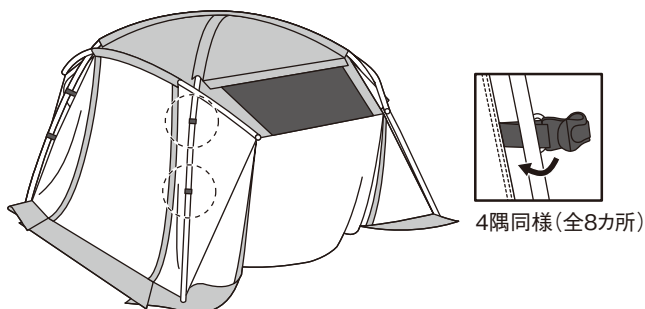
- ⑦ スリーブとフレームのステッカーの色が合っていることを確認し、バイザーフレームをスリーブに通してください。メインフレームとの交差部では、バイザーフレームが上になるように交差させてください。
 ※フレームをスリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。



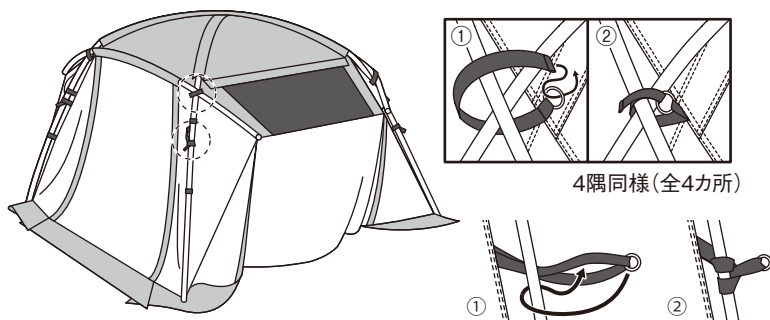
- ⑧ バイザーフレームの両端を(A)の箇所のグロメットに差し込んでください。(全4カ所)



- ⑨ 本体に付いているすべてのプラスチックフックをフレームに掛けてください。(全8カ所)
 ※フレームとフックの間に指を挟まないよう気をつけてください。
 ※フレームが付いているテープがねじれないように掛けてください。

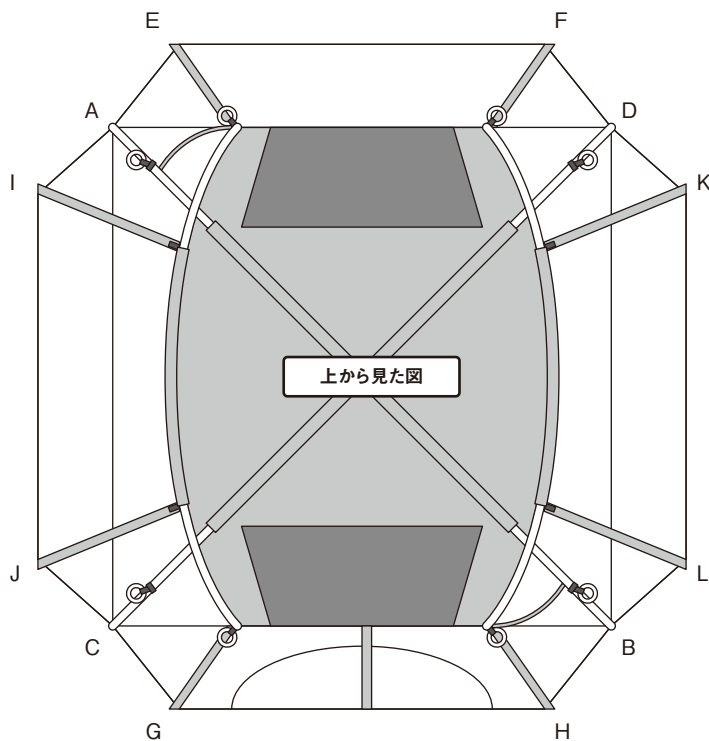


- ⑩ メインフレームとバイザーフレームの交差部に付いているすべてのベルクロ付テープを図のようにフレームに巻き付けてください。(全4カ所)また、リング付テープをメインフレームに巻き付けてください。(全4カ所)

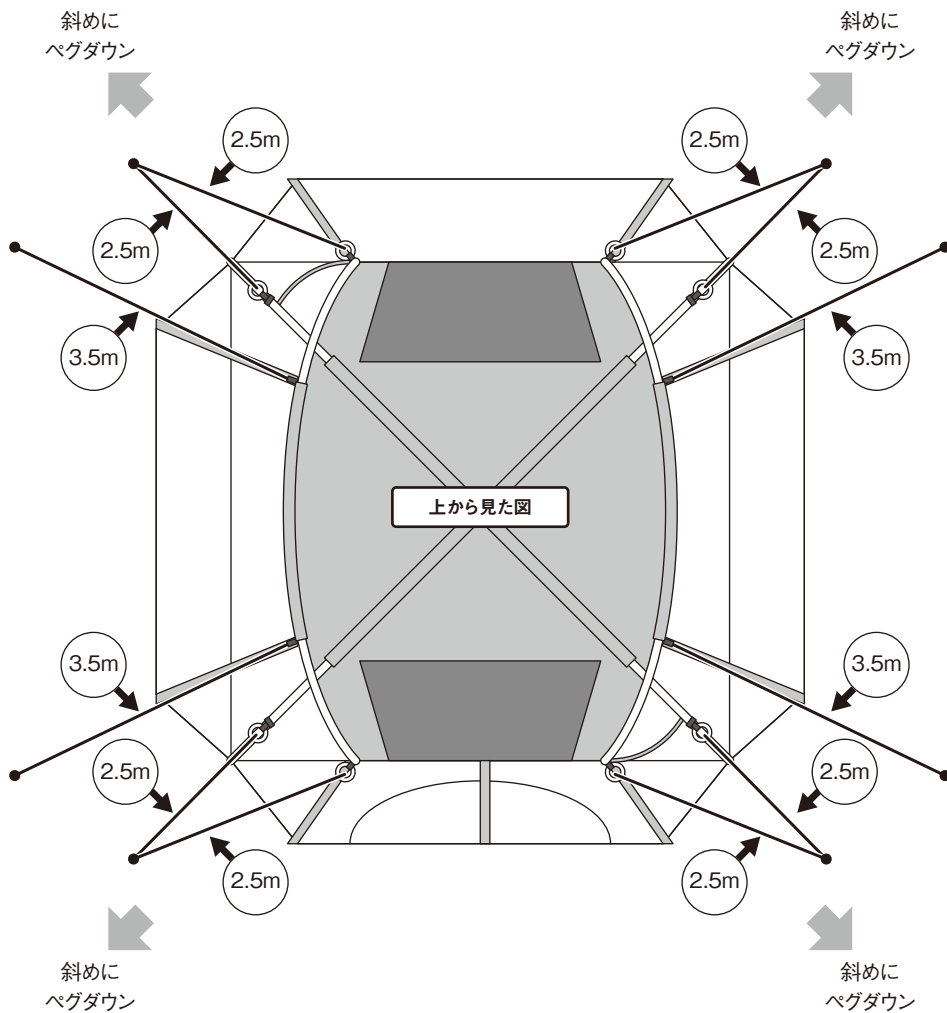


フレームに巻き付けた後、ループに先端を通してください。

- ⑪ 本体の各コーナーを図のアルファベットの順番でベグダウンしてください。

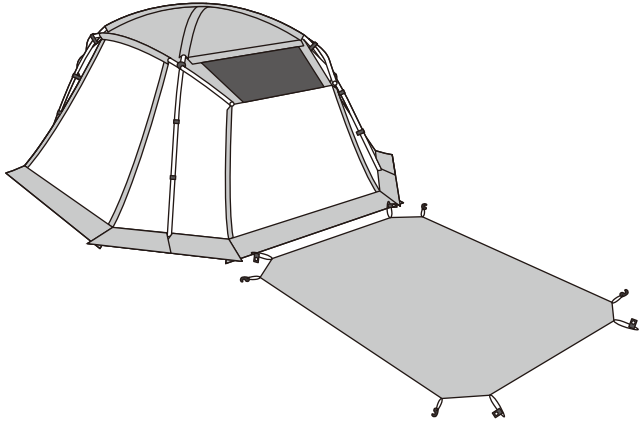


- ⑫ 図に従いロープを本体に取り付け、ロープをベグダウンします。
※強風でシェルターを飛ばされたり、フレームを破損させないためにも、しっかりとベグダウンしてください。

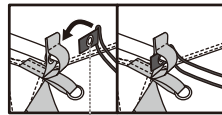


ルーフシートの取り付け

- ① ルーフシートを図のようにシェルターの前に裏面(ロゴの印刷がない面)が上を向くように広げてください。



- ② ルーフシートは裏返しのまま、ルーフシートのゴムひもに付いているグロメットにバイザーフレームの末端を差し込んでください。

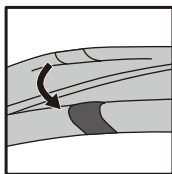


グロメット
内側より赤色テープのループの中に入れ、
バイザーフレームの先端を差し込んでください。

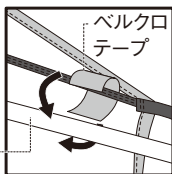
- ③ 2人がルーフシートの本体から離れた端をそれぞれ持ち、ルーフシートをひっくり返しながら後側までシェルターにかぶせてください。



- ④ ルーフシートの裏面にあるベルクロテープ(全10カ所)をシェルターのフレームやスリーブに巻き付けてください。

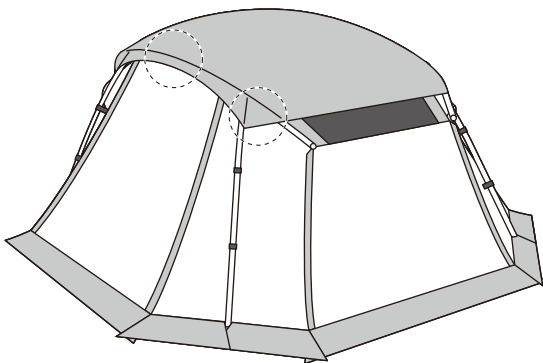


反対側も同様

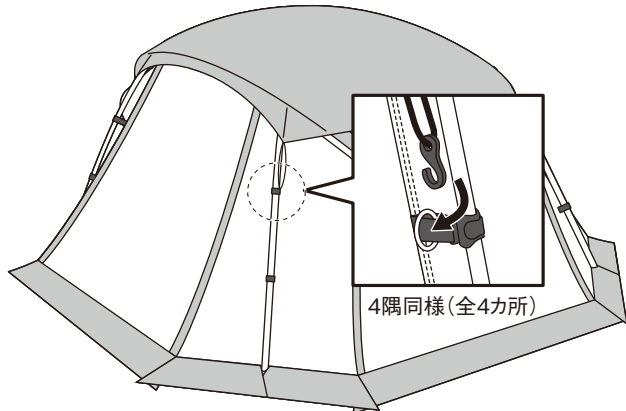


フレーム

4隅同様(全8カ所)



- ⑤ ルーフシートの図の箇所にあるプラスチックフックが付いているテープのリングにフックを引っ掛けてください。この作業で設営は完了です。



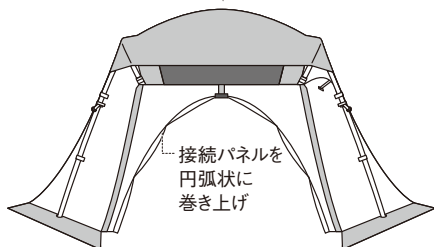
4隅同様(全4カ所)

テントとのドッキングについて

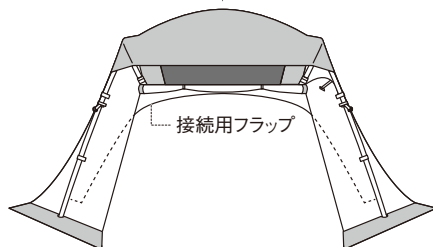
ドッキングパネルにスノーピーク製のテントを接続することができます。ドッキングはメッシュシェルターを設営しペグダウンした後に行ってください。

- ① お手持ちのテントにあわせてドッキングパネルを巻き上げてください。

ドッキングするテント: アメニティドームM、ランドブリーズ6、ドックドームPro.6
ドッキングパネル中央のジッパーをバックルのある高さまで開け、円弧状にパネルを巻き上げてください。

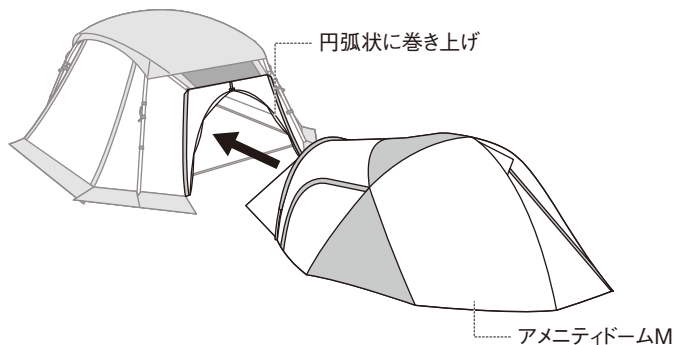


ドッキングするテント: ヴォールト(エントリーバックTTのテント)、アメニティドームL
ドッキングパネルを全て巻き上げ内側の接続用フラップを使用してください。

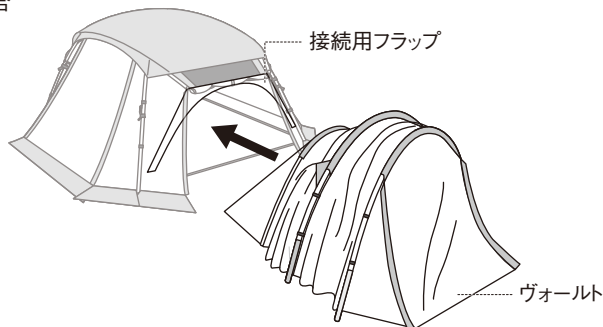


- ② テントを組み立て、ペグダウンする前に前室フレームを接続部を通しメッシュシェルターの中に入れてください。
※ヴォールトはインナーテントを取り付ける前に接続してください。

例: アメニティドームMを接続する場合

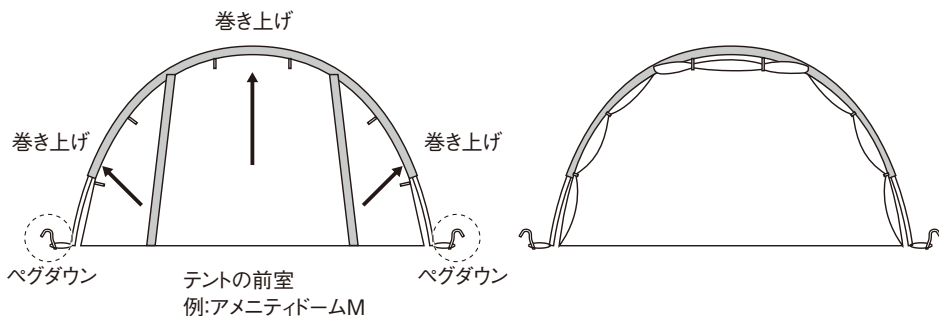


例: ヴォールトを接続する場合

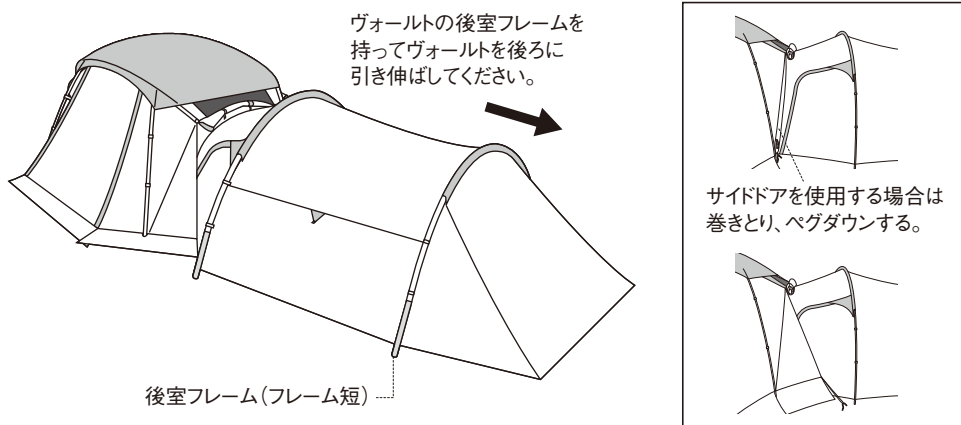


- ③ テントの前室フレームの先端にあるベグダウンループをベグダウンして前室の出入り口パネルとサイドパネルを巻き上げてください。

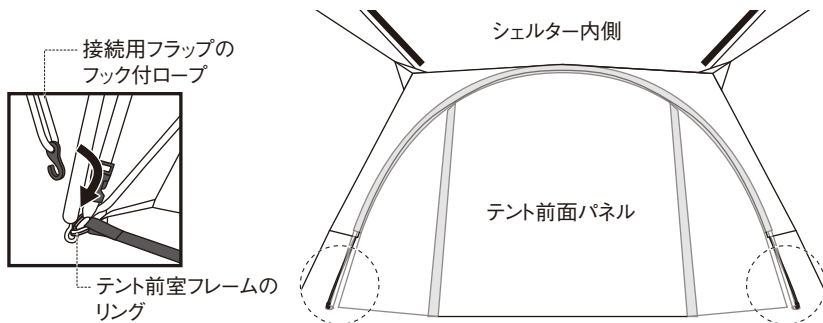
※強風が予想される場合は、テントの前室サイドパネルは巻き上げずにベグダウンしたままにしてください。



- ④ テントの残りのベグダウン箇所をすべてベグダウンします。ヴォールトを接続する場合はこの時にヴォールトの後室を後ろに引っ張り、テントを引き伸ばしてください。ヴォールトまたはアメニティドームLのサイドドアを使用する場合は図のようにメッシュシュルターのパネルを巻きとり、ベグダウンしてください。



- ⑤ 接続用フラップを使用する場合は接続用フラップ下部にあるフック付きロープのフックをテントの前室フレームの両端に取り付けられているピンのリングに引っ掛けた後、自在でロープの長さを調節してください。

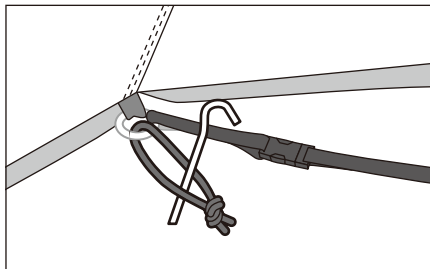


ビルディングテープをはずす場合

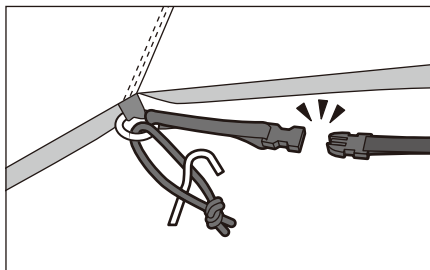
お子様などがビルディングテープに足を引っ掛けることを防ぐため、必要に応じてビルディングテープをはずすことができます。ビルディングテープをはずすとシェルターの強度は下がるため、基本的にはビルディングテープははずさないでください。特に雨天、強風などの天候の悪化が予想される場合には、はずしたビルディングテープを必ず接続してください。

※はずすことができるのは出入口パネルの下にあるビルディングテープ(2本)のみです。

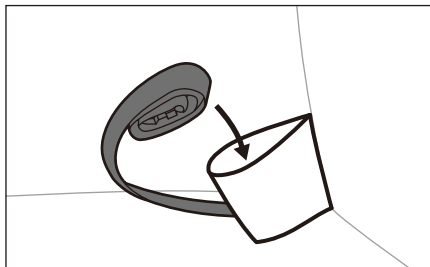
- ① ビルディングテープをはずす際、シェルターが外側へ広がるのを防ぐため、ループを固定しているペグをあらかじめ本体外側から内側へ打ちかえてください。(全4カ所)



- ② ペグを内側へ打ちかえた事を確認し、ビルディングテープをはずしてください。

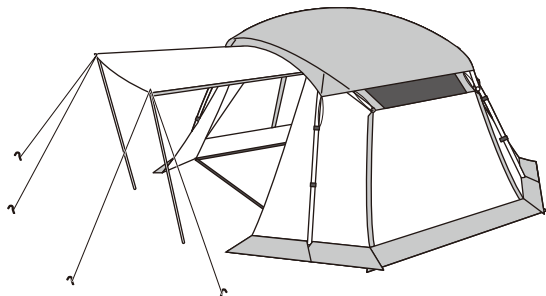


- ③ はずしたビルディングテープを丸めて、収納ポケットへ入れてください。
※撤収する前にはビルディングテープを再度接続してください。ビルディングテープをはずしたままだと次回の設営ができません。

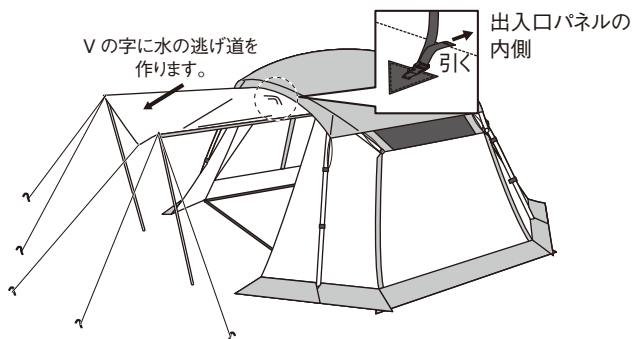


ドアパネルを跳ね上げる場合

- ① ドアパネルは別売のTP-080アップライトポールセットを使用してください。アップライトポールをドアパネルの端にあるグロメットまたはループに差し込み、二又用ロープをベグダウンし固定してください。



- ② 雨天時は水溜まり対策としてドアパネルの中央に付いているループにロープを通し、そのロープをベグダウンしてパネルをVの字に下げます。その際、出入口パネルの内側のベルトを引くことで、雨水が溜まるのを軽減します。



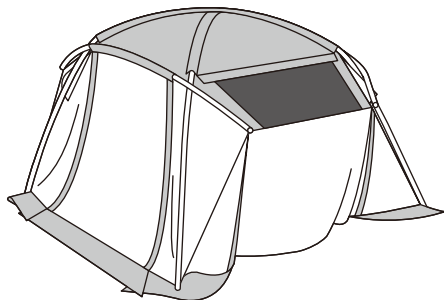
撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールーム等を取り付けた場合や、テントを接続していた場合は、必ずインナールームやテントを本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にビルディングテープのバックルが接続されていることを必ず確認してください。ビルディングテープが外れたままだと次回の設営ができません。
- フレームをピンからははずす時は、フレームがはね返り危険です。フレームにテンションがかからなくなるまでフレームの先端をしっかり持ち、放さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押し出しながら取り出してください。フレームを引きながら取り出すと、スリーブの中で連結部がはずれ、生地をはさんで傷つける可能性があります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。ベグやフレームを専用のケースに入れず、むき出しの状態では収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。

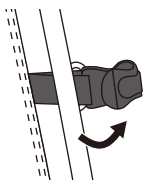


撤収の手順 必ず2人以上で撤収してください。

- ① 本体に取り付けてあるルーフシートのベルクロテープとフック、バイザーフレームに取り付けてあるグロメットをすべてはずし、ルーフシートを本体から取りはずしてください。テントとドッキングした場合はテントの前室フレームをシェルターから取り出し、ドッキングパネルは閉じてください。
- ② すべてのペグを地面から抜き、ロープは結んでまとめてください。このとき、リング付テープ(全4カ所)とベルクロ付テープ(全4カ所)もフレームから取りはずしてください。
※ビルディングテープを外した場合、必ずビルディングテープをつなぎなおしてください。
※強風が予想される場合は、左右対称に2カ所のコーナーのペグを抜かずに残して作業してください。



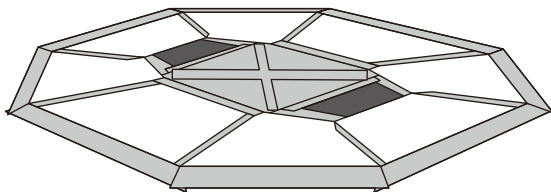
- ③ 本体のすべてのプラスチックフック(全8カ所)をフレームから取りはずしてください。



- ④ バイザーフレームを本体から取り外してください。
※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。
※ピンを外すときは必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。



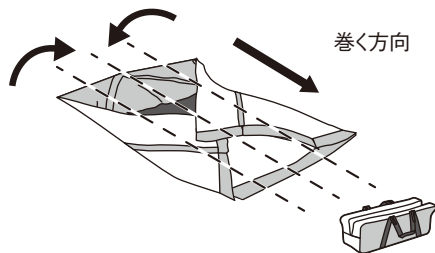
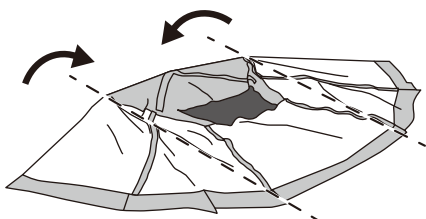
- ⑤ メインフレームを本体から取り外してください。
 ※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。
 ※ピンを外すときは必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。
 ※ベグを抜かずに残っていた場合はすべてのベグを抜いてください。



- ⑥ 本体とインナールーム、ルーフシートをキャリーバッグの大きさに合わせて折りたたんでください。
 本体は黒色テープが付いたリッジポール用のスリーブを中心に2つ折りにし、各スリーブを目印に折りたたんでください。

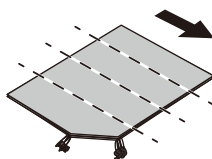
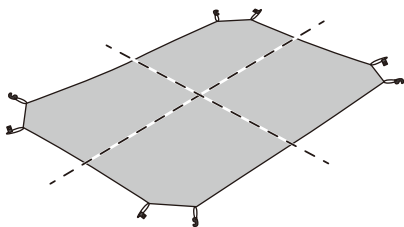
本体のたたみ方

- ① ルーフやパネルの両端を目安に本体両端を内側に折り込んでください。
- ② 縦に4つ折りし矢印の方向に巻きます。

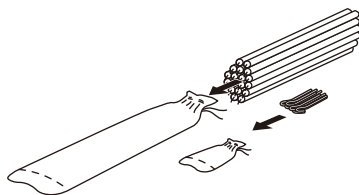


ルーフシートのたたみ方

- ① 4つ折りにします。
- ② 縦に4つ折りし矢印の方向に巻きます。



- ⑥ フレームやベグは付属のフレームケース、ベグケースに入れてキャリーバッグに収納してください。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などが空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生がしやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本体やルーフシートには高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を使用することで撥水性能を改良することができますが、使用する撥水スプレーの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の修理が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。
- 次の使用に備え、ロープやベグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

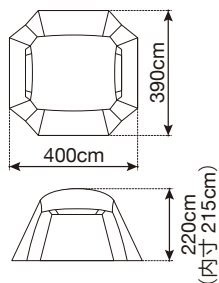
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容: 本体、ルーフシート、メインフレーム(×2)、バイザーフレーム(×2)、ジュラルミンペグ(21cm×20)、自在付ロープ(3.5m×4、2.5m×8)、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース
- 材質: 本体/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・テフロン撥水加工、ルーフシート/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・撥水加工、マッドスカート/210Dポリエステルオックス・PUコーティング、フレーム/A6061(φ16mm、φ14.5mm)
- キャリーバッグサイズ: 77×27×31(h)cm
- 重量: 12.0kg

○対応人数 4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)

E-mail: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA